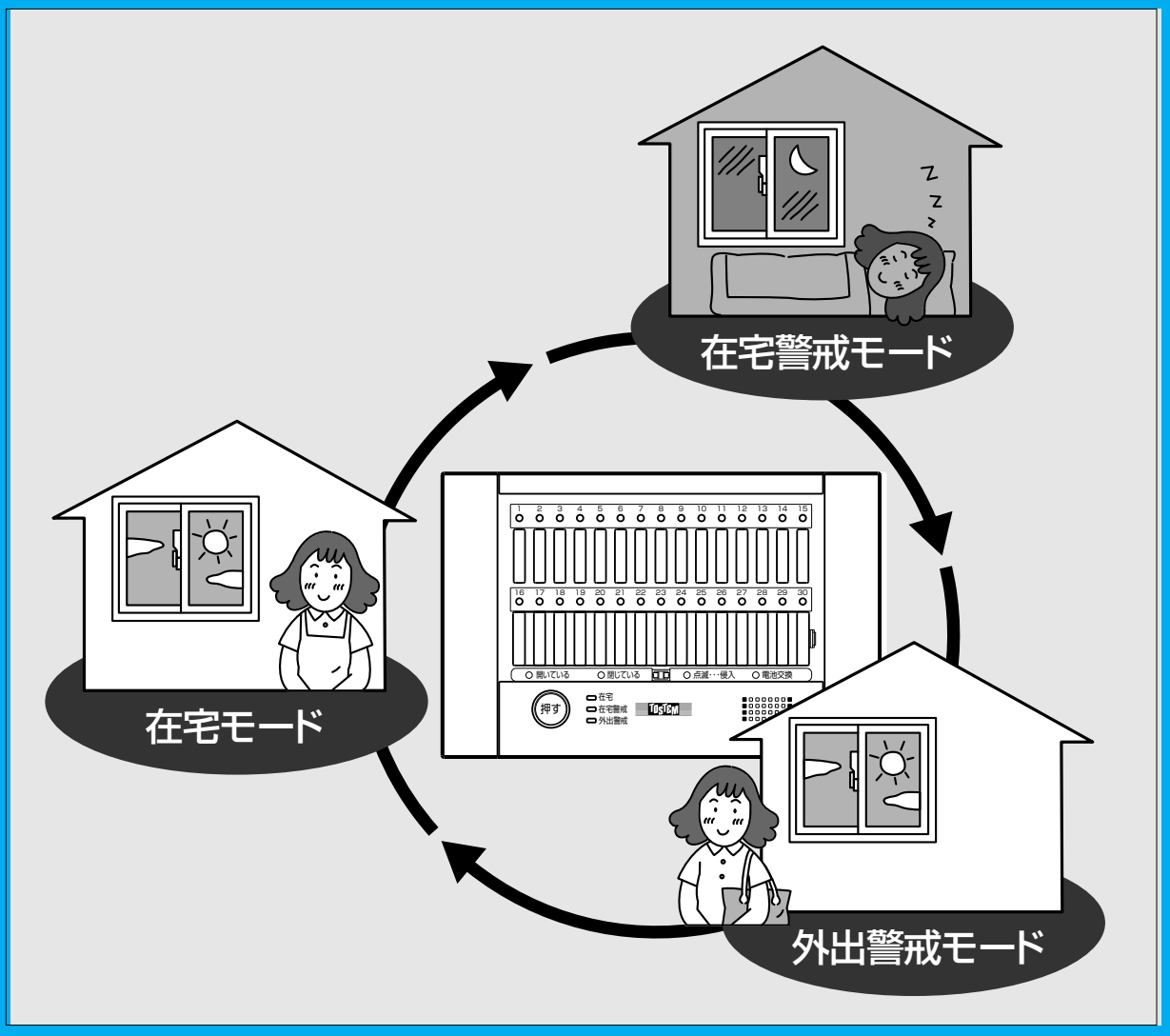
お施主様用

トステム ホームセキュリティー

取扱い説明書



警　告

●この取扱い説明書を読んで理解するまでは、本機器の使用及びお手入れを行わないでください。

●この取扱い説明書は、ご使用中に不明な点やお手入れの方法などをいつでも調べられるように大切に保管してください。

重要なお知らせ

警　告

安全のために、必ずお守りください。
本機器の操作及びお手入れは、この取扱説明書にそって行ってください。もしこの取扱い説明書に従わず、乱用及び誤用によるけが及び損害が発生した場合は、トステム株式会社及びその販売会社に責任はないものといたします。

1.この取扱い説明書の記載事項の他にも、あらゆる危険が想定されます。従って本機器の操作及びお手入れの際は、この取扱い説明書の記載事項に限らず、安全対策に関して十分な配慮が必要です。
2.この取扱い説明書は版権を有し、その権利は留保されています。
3.商品のお問い合わせについては、以下の窓口までご連絡ください。

商品に関する相談窓口
0120-711-609

目　次

■重要なお知らせ……1
■目次……1
■安全について……2
■特に注意していただきたいこと……2・3
■使用上のご注意……4
■各部の名称と役割……5・6
■はじめに……7
　1.窓施錠モニターについて……7
　2.24時間監視します……7
■モニター機能の説明……8
■操作のしかた……9
　1.在宅モード……9
　2.在宅警戒モード……10
　3.外出警戒モード……11
■電池交換のしかた……12
　1.モニターの電池交換……12
　2.センサーの電池交換……12
　3.お手入れ方法……12
■センサーの登録のしかた……13
　1.センサーの登録……13
　2.センサーの登録消去……14
　3.再登録……15
■こんな時どうするの?……16
■仕様……17
■保証について……18

安全について

警告用語の種類と意味

この取扱い説明書では、危険度の高さ（又は事故の大きさ）に従って、次の3段階に分類しています。以下の警告用語が持つ意味をよく理解し、本書の内容(指示)に従ってください。

警告用語	意　味
⚠警 告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が想定されます。
⚠注 意	取扱いを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。
お 願 い	特に注意を促したり強調したい情報で、指示に従わないと機器の損傷・故障等につながる場合に用います。

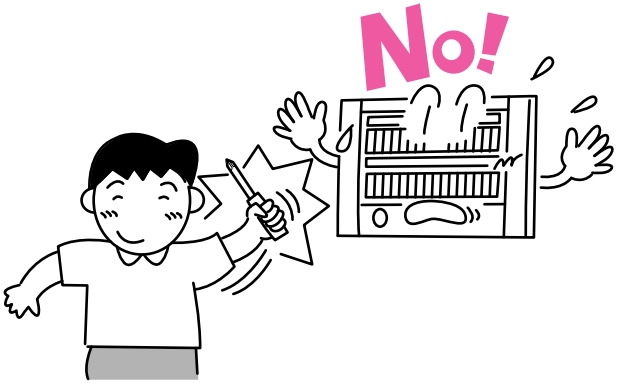
特に注意していただきたいこと

※安全のため必ずお守りください。

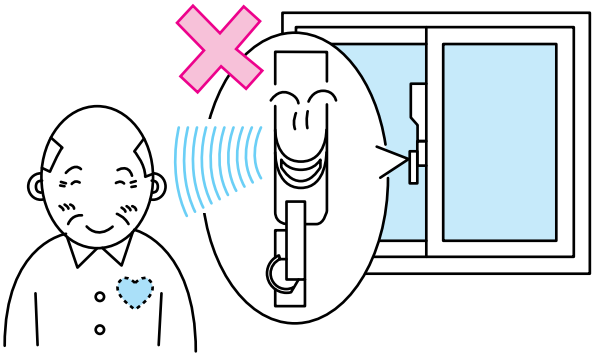
⚠警　告

●チャイム線など既設の配線には交流100Vが通電されている場合があります。その配線を利用すると、機器の破損及び感電の原因となります。

●機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



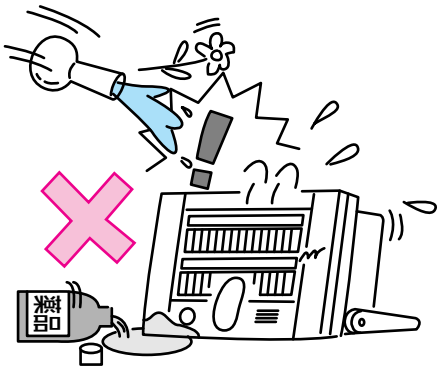
●ペースメーカなど使用されている方を近づけないでください。　ペースメーカに影響を与えることがあります。



●開口部から内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

⚠警　告

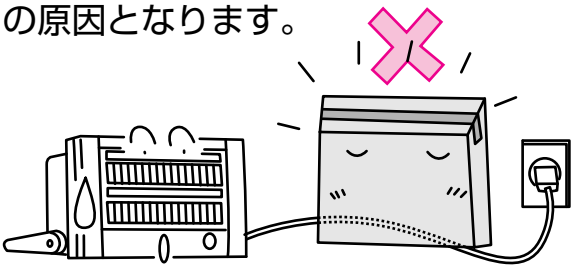
●機器に液体(水・ジュース・薬品等)が入ったり、ぬらさないようにしてください。
火災・感電の原因となります。



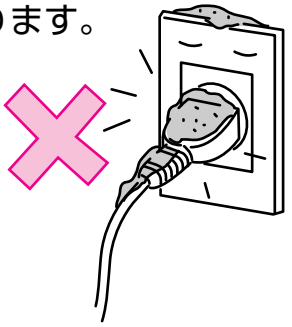
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。



●電源コードを傷付けたり、重いものを乗せないでください。火災･感電の原因となります。

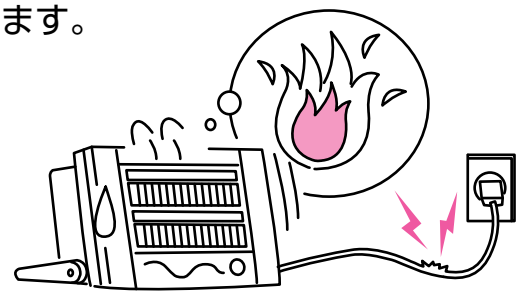


●電源プラグの部分にホコリがたまらないようにしてください。火災の原因となります。

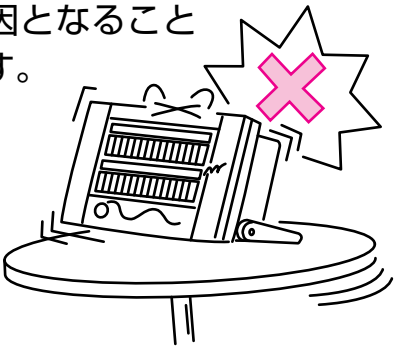


⚠注　意

●電源を入れる前に誤配線、ショート等がないことを確認してください。
火災･感電の原因となることがあります。



●振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。



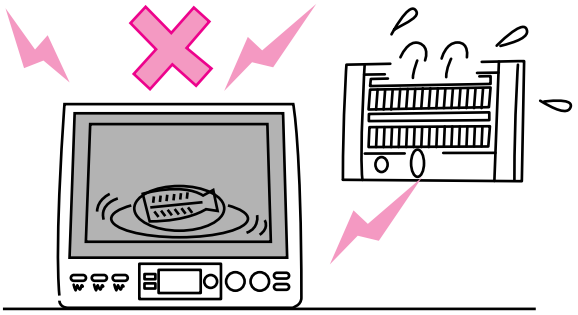
お願い

●次の場所での設置は避けてください。故障の原因となることがあります。
・暖房機器及びボイラー等の火気の近くなど、温度が上昇するところ。
・鉄粉・ホコリ・油・薬品・硫化水素(温泉地)などのかかるおそれのあるところ。
・浴室・地下室・温室などの湿度の高いところ。
・冷凍倉庫内・クーラーの正面などの温度が低いところ。
・TV・無線装置・電子レンジ・コードレス電話など、電波を発生するものの近く。

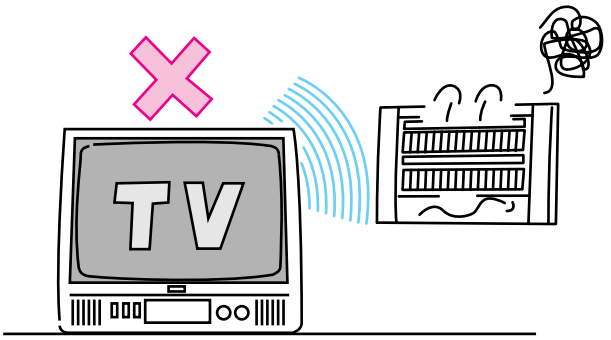
使用上のご注意 （無線機器を正しくご使用いただくために）

使用上のご注意

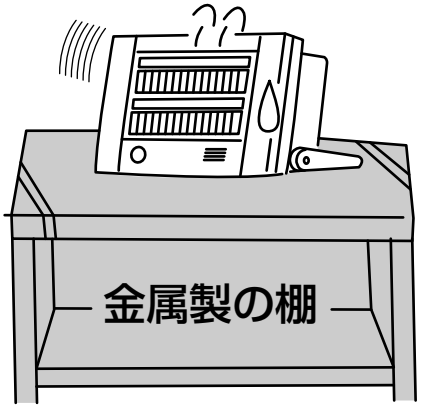
●電子レンジ・電磁調理器など強い電磁波を発生する器具の近くには設置しないでください。
※電磁波により、電波の送受信に影響を与えることがあります。



●テレビやパソコンなどの電化製品の近くには設置しないでください。
※ノイズにより、電波の送受信に影響を与えることがあります。



●金属製の棚に設置しないでください。
※電波が伝わりにくくなります。

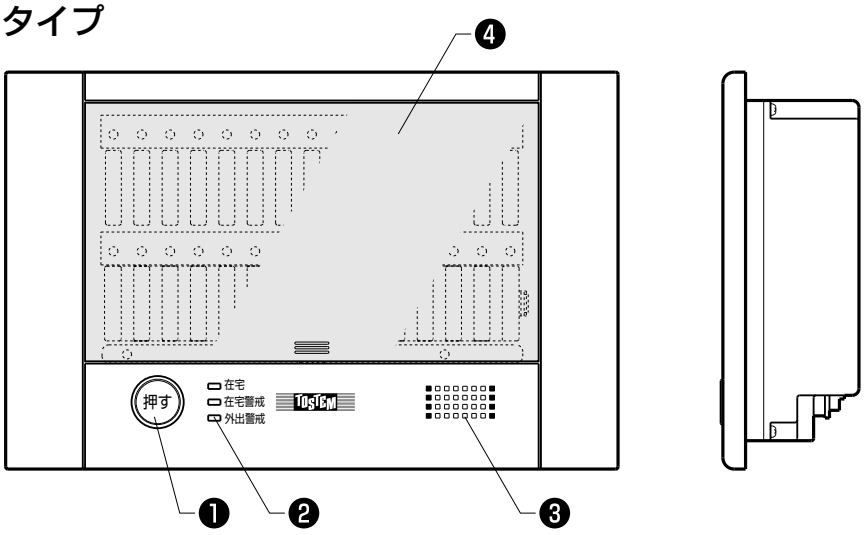


●モニターは、AC電源が接続されない状態で、電池で動作すると短時間で電池がなくなります。（停電用のため）
30分以上、AC電源を外す場合は、電池寿命が短くなるため、必ずモニターの電池（単三アルカリ乾電池／4本）を抜いてください。
※「電池交換のしかた」はP.12を参照願います。

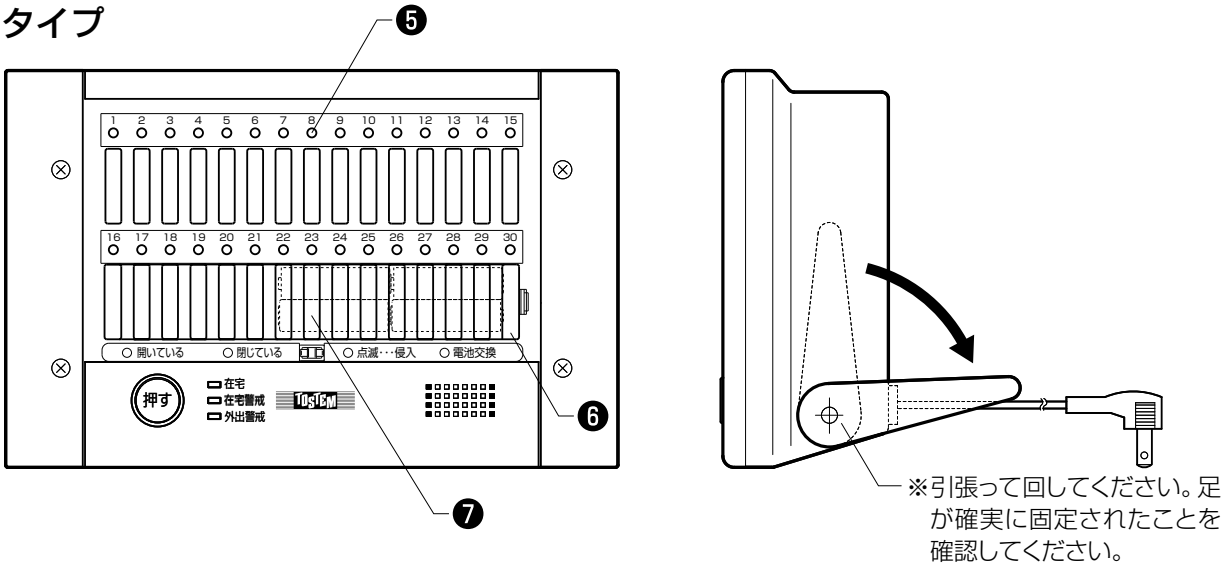
各部の名称と役割

モニター

■埋込みタイプ

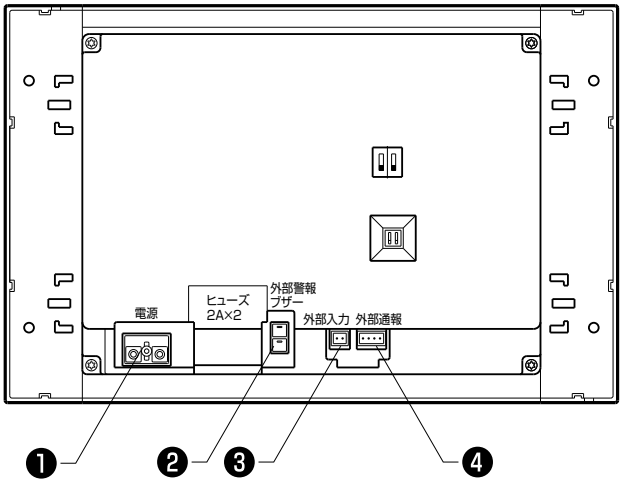


■据置きタイプ



番号	名　称	役　割	働　き
❶	「押す」スイッチ	・❷の各モードを切替えます。 ・警報ブザーを停止します。	「押す」スイッチを押すごとに、在宅⇒在宅警戒⇒外出警戒⇒在宅と切り替えます。（警報のブザー停止や登録モードの時は、各センサーの登録位置を順に切り替えます。）
❷	動作モード表示ランプ	機器の状態を表します。	在宅（緑色）、在宅警戒（赤色）、外出警戒（赤色）のそれぞれのモードに対して、ランプが点灯します。 電源接続時、在宅モードのランプがつきます。
❸	警　報	警報をお知らせします。	在宅警戒・外出警戒モード時に解錠された場合に警報音を出します。
❹	表面カバー	表示部全体を覆っています。	－
❺	状態表示ランプ	・施解錠をお知らせします。 ・センサーの電池切れをお知らせします。	施錠（緑色）、解錠（赤色）を発光ランプでお知らせします。 又、センサーの電池消耗（橙色）・作動停止状態・不正解錠状態も示します。
❻	電池カバー	電池を内蔵します。	－
❼	単三アルカリ乾電池（4本）	停電時に電源を供給します。	停電時でも警報を出すことができます。電池が消耗すると、動作モード表示ランプ（在宅）が点滅します。

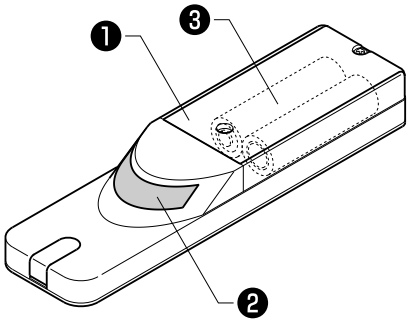
モニター（裏面）



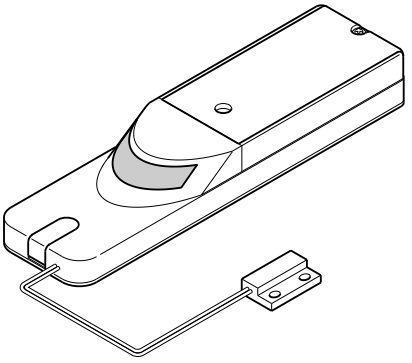
番号	名　称	役　割	働　き
❶	電源端子	–	屋内配線からAC100Vをつなぎます。
❷	外部警報ブザー端子	–	在宅警戒・外出警戒モード中に解錠された場合、不正解錠信号を外部警報装置へ出力します。
❸	外部入力端子	–	玄関スマートキーの不正操作信号を受け取ります。 在宅警戒・外出警戒モード中に玄関スマートキーからの警報信号を入力した場合、警報を30秒間鳴らします。
❹	外部通報端子	–	在宅警戒・外出警戒モード中に解錠された場合、不正解錠信号を通報装置へ出力します。

センサー

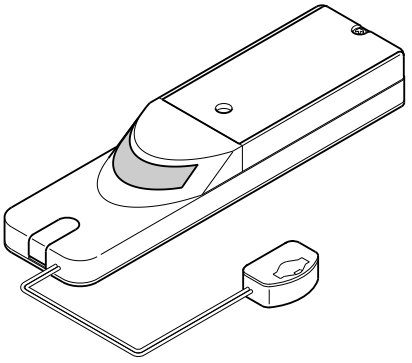
●クレセントセンサー



●汎用センサーA



●汎用センサーB



番号	名　称	役　割	働　き
❶	電池カバー	電池を内蔵します。	警戒モードで電池カバーを外すと警報を発生します。
❷	赤色ランプ	施錠をお知らせします。	夜間、施錠時に点滅させます。（周囲が暗くなり、30分たった頃から点滅します。）
❸	単三アルカリ乾電池（2本）	センサーの電源を供給します。	電池が消耗すると、モニターの状態表示ランプ（橙色）でお知らせします。

はじめに

この説明書は、窓施錠モニターの特長や機能、及びご利用のしかたを説明しています。

1 窓施錠モニターについて

●窓施錠モニターは、モニター部とセンサー部に分かれています。
窓にセンサーを取付けることで、センサーからの情報をモニターが受け取って、窓の施錠状態（どの窓が開いているか）をひと目で確認できる監視装置です。

●クレセント等が開けられた場合に、警報ブザーでお知らせします。

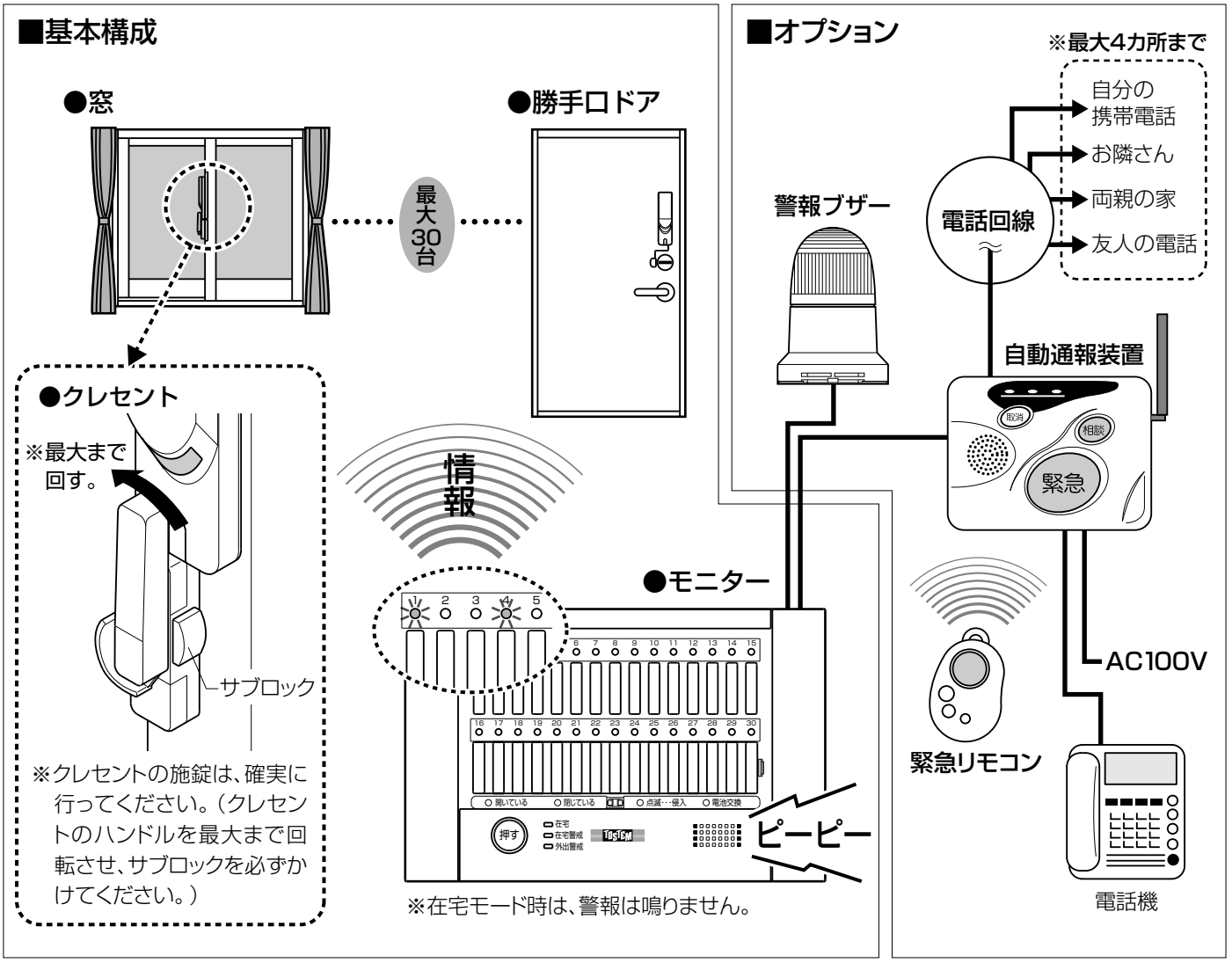
●モニターとセンサー間は、完全ワイヤレス式でわずらわしいコードなどは一切ありません。又、センサーは最大30台まで取付け可能です。
（送受信可能範囲は、30m以上。但し、使用場所の環境により短くなります。）

●「玄関スマートキー（鍵穴カバー・窓施錠モニター接続用仕様のみ）」と接続できます。
（有線接続のため、モニターは「埋込みタイプ」になります。「据置きタイプ」は接続できません。）
警戒モード時に鍵穴カバーがはずされると、警報ブザーでお知らせします。
（モニターでの施解錠確認はできません。）

●警告シール（大：1、小：30枚同梱）は、玄関・ポスト等に大シールを、窓まわりに小シールを張って御使用ください。

2 24時間監視します

●お出かけ時は「外出警戒モード」、帰宅したら「在宅モード」、おやすみ時には「在宅警戒モード」とあなたのお宅を24時間いつも監視します。



モニター機能の説明

動作モードの意味

●在宅モード
施錠⇔解錠の確認ができます。

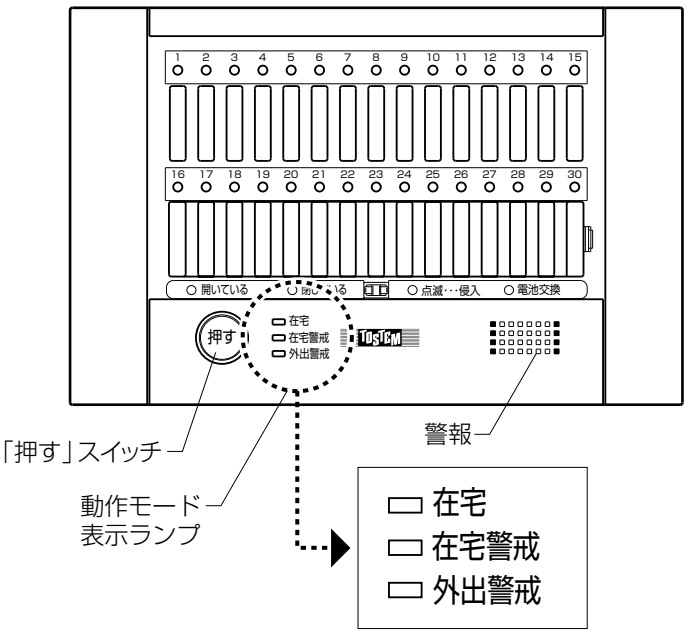
●在宅警戒モード
夜間おやすみになっている時などに設定してください。

●外出警戒モード
お出かけ時などに設定してください。

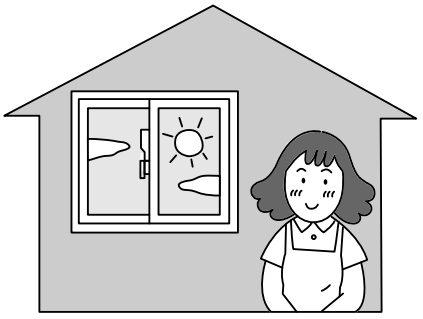
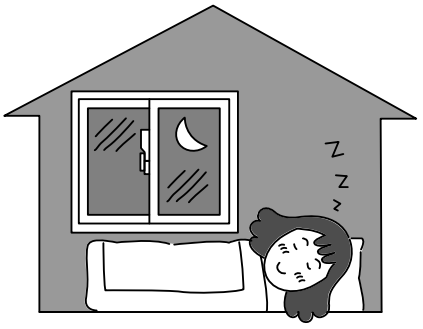
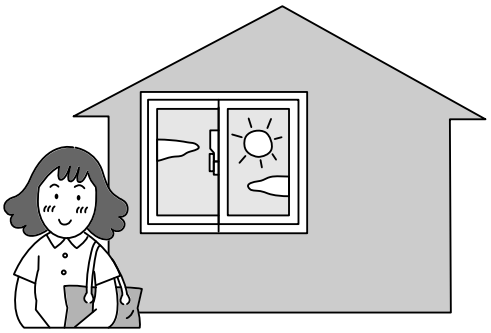
※「押す」スイッチを押して在宅⇒在宅警戒⇒外出警戒⇒在宅を選択します。

※センサーを施錠から解錠にしてすぐに警戒モードにする時には、操作したセンサーの状態表示ランプが赤（解錠）となったことを確認してモードの切替えをしてください。
警戒モードにした後に、状態表示ランプが緑（施錠）から赤（解錠）に変わると警報がでます。

●モニター



■モニター機能の説明

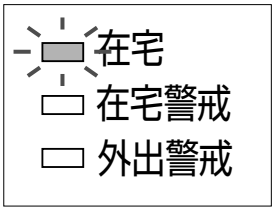
タイプ	説明図	動作モード表示ランプ	警　報
在宅モード		在宅（緑色点灯）	センサーが「開」を検知しても、警報は鳴りません。
在宅警戒モード		在宅警戒（赤色点灯）	センサーが「開」を検知すると、警報が30秒間鳴った後、止まります。（「押す」スイッチを押しても停止します。）
外出警戒モード		外出警戒（赤色点灯）	センサーが「開」を検知すると、警報が30秒間鳴ります。（「押す」スイッチを押しても停止しません。）

操作のしかた

本機器のご利用にあたって、通常どなたかが在宅のときは「在宅モード」、就寝中は「在宅警戒モード」、外出時でどなたも不在の時は「外出警戒モード」を選択されることをお勧めします。

1 在宅モード

❶

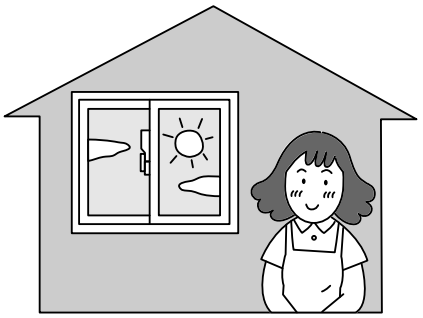


●「押す」スイッチを押すたび、在宅⇒在宅警戒⇒外出警戒⇒在宅を切替えることができます。

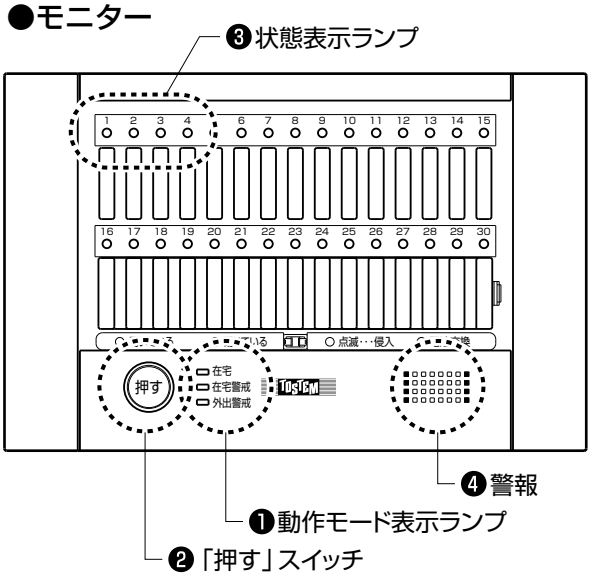
❷

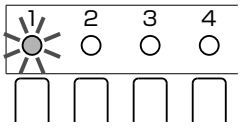
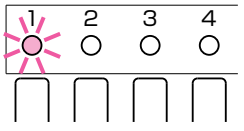


●在宅モードでは、施錠・解錠の状態を、モニターの状態表示ランプで表示します。



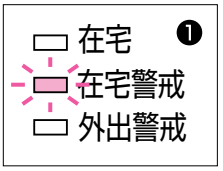
●モニター



手　順	表示ランプ	備　考
①各窓やドアを施錠します。 ※モニターの状態表示ランプは、緑色に点灯（施錠）します。	❸ 	モニターの状態表示ランプは、各センサーの状態（施錠・解錠）を表します。 **●緑色点灯⇒施錠**
②各窓やドアを解錠します。 ※解錠された各ランプは赤色点灯に変わります。	❸ 	モニターの状態表示ランプは、各センサーの状態（施錠・解錠）を表します。 **●赤色点灯⇒解錠**

2 在宅警戒モード

●在宅警戒モードランプが赤色点灯しています。
夜間おやすみになっている時などに設定してください。

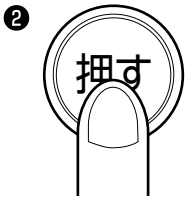


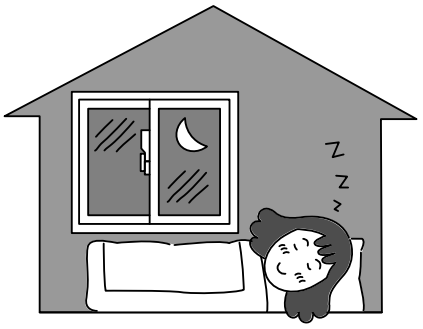
●「押す」スイッチを押すたび、在宅⇒在宅警戒⇒外出警戒⇒在宅を切替えることができます。



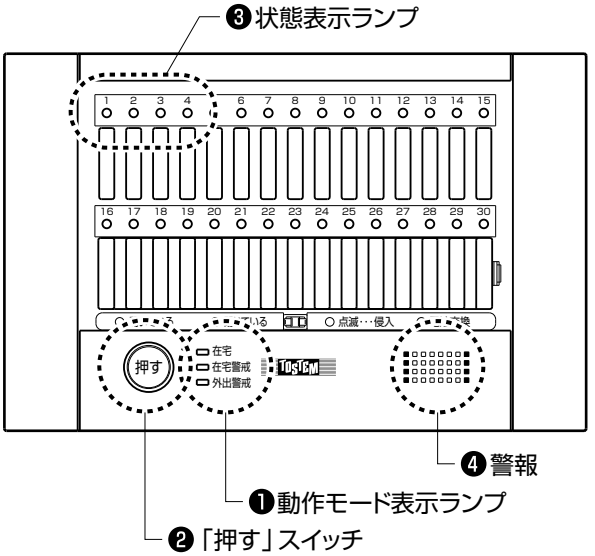
●在宅警戒モードでは、不正解錠すると30秒間の警報を鳴らした後、止まります。

●安全を確認した後、「押す」スイッチを押して在宅モードにすると状態表示ランプが赤色点滅⇒緑色点灯に戻ります。





●モニター



手　順	表示ランプ	備　考
①各窓やドアの施錠を確認します。 ※モニターの状態表示ランプは、緑色に点灯（施錠時）します。	❸ 1 2 3 4	モニターの状態表示ランプは、各センサーの状態（施錠・解錠）を表します。 **●緑色点灯⇒施錠**
②在宅警戒モードに切替えます。 ※モード表示の在宅警戒ランプは、赤色点灯します。	❶ 在宅 在宅警戒 外出警戒	
※窓やドアが解錠されると警報を出します。 （「ピーピー」と30秒間） ※解錠された窓の状態表示ランプは、赤色点滅を続けます。	❹ ピーピー	ブザーにより30秒間警報を出します。
③原因を取り除き、安全を確認した後、「押す」スイッチを押して警報を停止させます。 ※「押す」スイッチを押すと警報が停止できます。この時に状態表示ランプの赤色点滅は、そのまま継続します。在宅モードに切替えると点滅が点灯に変わります。	❷ 押す	警報の原因には以下のことが考えられます。 ●施錠から解錠。 ●電池カバーが開いている。 ●センサーに他の磁石を接近させた ●妨害電波等。

3 外出警戒モード

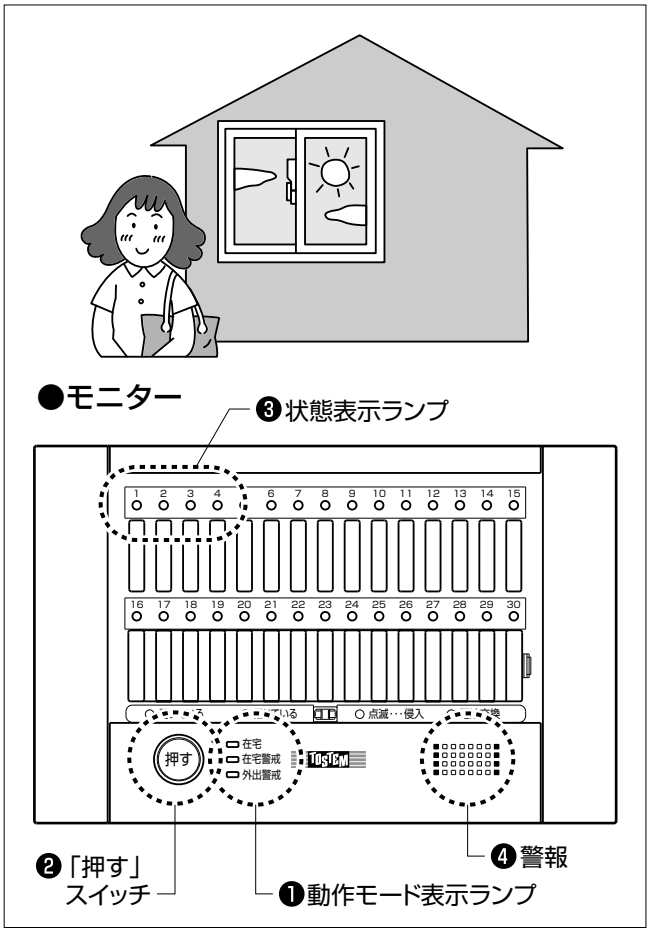
●外出警戒モードランプが赤色点灯しています。
お出かけ時などに設定してください。



●「押す」スイッチを押すたび、在宅⇒在宅警戒⇒外出警戒⇒在宅を切替えることができます。



●外出警戒モードでは不正解錠すると、30秒間の警報を鳴らした後、止まります。
●この時に「押す」スイッチを押しても警報は止まりません。



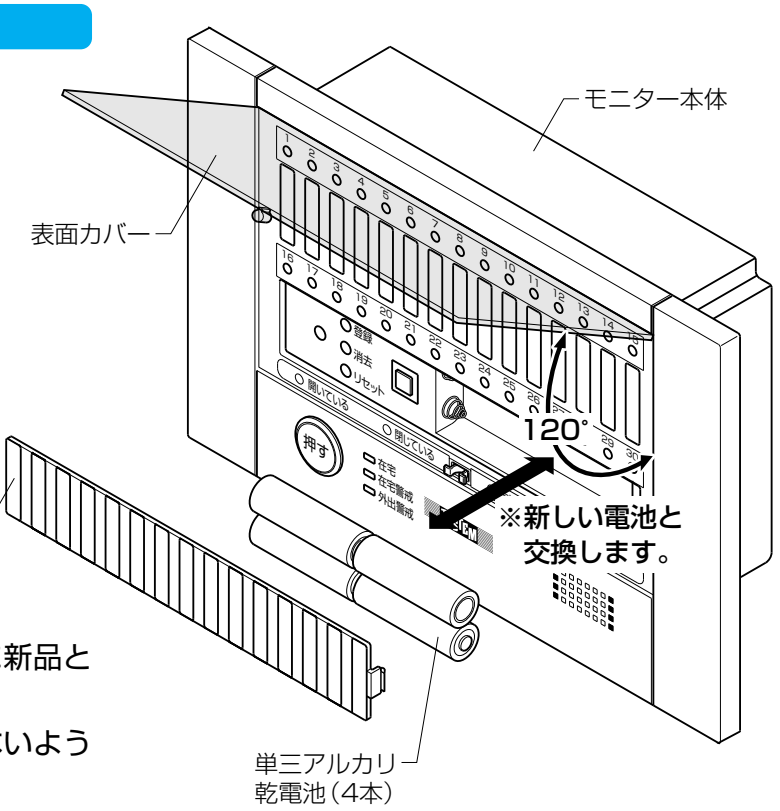
手　順	表示ランプ	備　考
①各窓やドアの施錠を確認します。 ※モニターの状態表示ランプは、緑色に点灯（施錠時）します。	❸ 1 2 3 4	
②外出警戒モードに切替え、外出します。 ※動作モード表示の外出警戒ランプは、赤色点灯にします。	❶ 在宅 在宅警戒 外出警戒	
③窓が解錠されると警報を出します。 （「ピーピー」と30秒間） ※解錠された窓の状態表示ランプは、赤色点滅を続けます。 ※「押す」スイッチを押しても、30秒間は警報は停止できません。 ※警報停止後、状態表示ランプは、在宅モードに変えるまで赤色点滅を続けます。	❹ ピーピー	ブザーにより30秒間警報を出します。
④原因を取り除き、安全を確認した後、「押す」スイッチを押します。 ※「押す」スイッチを押し、在宅モードに切り替えると状態表示ランプは、赤色点滅⇒赤色点灯に戻ります。	❷ 押す	警報の原因には以下のことが考えられます。 ●施錠から解錠。 ●電池カバーが開いている。 ●センサーに他の磁石を接近させた ●妨害電波等。

電池交換のしかた

1 モニターの電池交換

①モニターの表面カバーを開いて（下部中央を押して解除）、電池カバーを外してください。
②単三アルカリ乾電池（4本）を入れ、電池カバーをはめてください。
※表面カバーは、120°以上開かないでください。表面カバーが破損するおそれがあります。

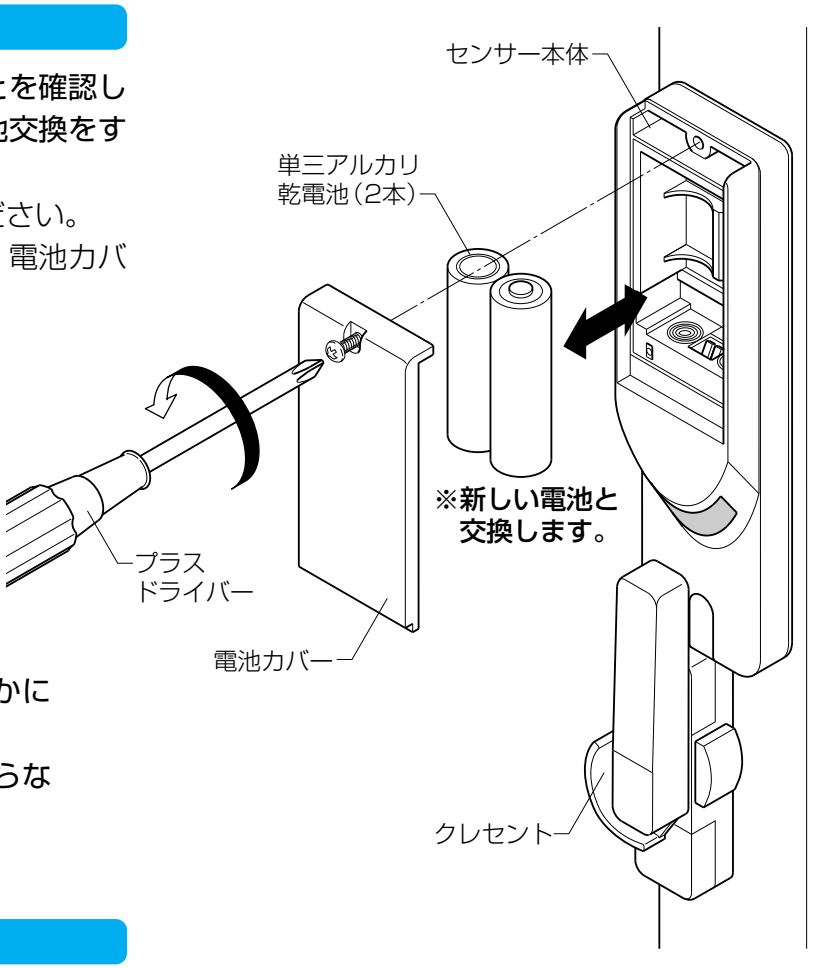
●同梱されている乾電池は、保管状態により、短期間で消耗することがあります。早めに新しい乾電池と交換してください。
●電池消耗の表示がでたら、すみやかに新品と交換してください。
●電池交換時に内部に水や異物が入らないように注意してください。
（故障の原因となります。）



2 センサーの電池交換

※動作モードが在宅モードであることを確認してください。（他のモード時に電池交換をすると警報が鳴ります。）
①センサーの電池カバーを外してください。
②単三アルカリ乾電池（2本）を入れ、電池カバーをはめてください。
※電池を入れてカバーをはめてから2分間は、センサーの動作確認（チェックモード）に入りますので、施錠・解錠状態は表示しません。

●同梱されている乾電池は、保管状態により、短期間で消耗することがあります。早めに新しい乾電池と交換してください。
●電池消耗の表示がでたら、すみやかに新品と交換してください。
●電池交換時に内部に水や異物が入らないように注意してください。
（故障の原因となります。）



3 お手入れ方法

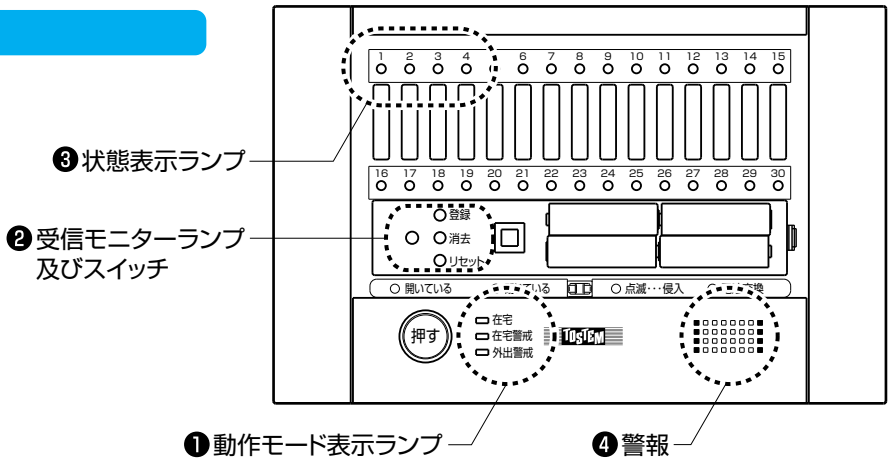
●必ずやわらかい布等で拭いてください。
（それ以外の方法ではお手入れはしないでください。）

センサーの登録のしかた

1 センサーの登録

●モニターの表示位置にセンサーを新規登録します。

●モニター（電池カバーなし）



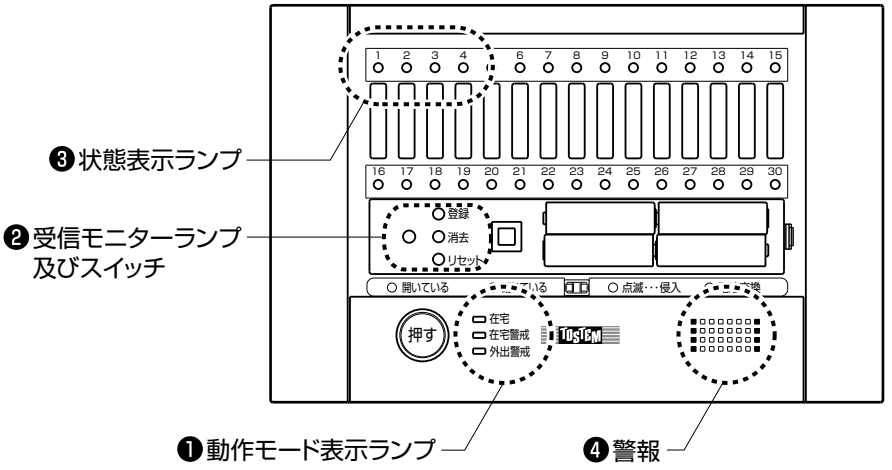
手　順	表示ランプ	備　考
①モニターの在宅ランプが緑色点灯していることを確認してください。 ⇩	❶ 在宅 / 在宅警戒	在宅ランプが緑色点灯していなければ、「押す」スイッチを押して点灯させます。
②モニターのカバーを上げ、電池カバーを外します。 ⇩	—	
③登録スイッチを押します。（細い棒で押してください。） ⇩ ※モニターのNo.1ランプが緑色にゆっくり点滅します。（1秒ON⇒1秒OFF）	❷ 登録 / 消去 / リセット	2分以上なにもしなければ、登録モードは終了します。続ける場合は、もう一度登録スイッチを押してください。
④登録モードに入ります。 ⇩	❸ 1 2 3 4	「押す」スイッチを押すごとにモニターの状態表示ランプが順送りされ、希望のランプ位置が選択できます。
⑤No.1として登録させたいセンサーのクレセントを4回、施錠・解錠の操作をしてください。（繰返し操作は4秒以内に行ってください。） ⇩ ※2秒程度間隔をあけてください。	—	No.1センサーがチェックモードになります。センサーの赤色ランプが点滅します。
⑥No.1として登録させたいセンサーのクレセントを2回、施錠・解錠の操作をしてください。（繰返し操作は2秒以内に行ってください。） ⇩ ※No.1センサーの赤色ランプが1秒間点灯します。	❸ 1 2 3 4	No.1センサーが登録のデータをモニターへ送信します。送信されると受信モニターランプが緑色に短く点灯します。
⑦モニターがNo.1センサーの登録データを受信しました。 ⇩ ※モニターのブザーが1秒間鳴り、No.1のランプが緑色（施錠）点灯に変わります。	❹ ピー	
⑧No.1センサーの登録が完了しました。 ⇩ ※モニターのNo.2のランプが緑色にゆっくり点滅します。（1秒ON⇒1秒OFF）	❸ 1 2 3 4	
⑨No.2以降を登録する場合は、⑤～⑧の作業を繰返します。 ⇩	—	

手　順	表示ランプ	備　考
⑩登録スイッチを押します。（細い棒で押してください。） 電池カバーをはめ、モニターのカバーを下げます。	❷ 登録 / 消去 / リセット	登録作業を完了します。
⑪登録モードを終ります。	—	
⑫モニターの在宅ランプが緑色点灯していることを確認してください。	❶ 在宅 / 在宅警戒	在宅モードになり、センサー状態を監視します。

2 センサーの登録消去

●すでに登録されているセンサーの登録を消去します。

●モニター（電池カバーなし）



手　順	表示ランプ	備　考
①モニターの在宅ランプが緑色点灯していることを確認してください。	❶ 在宅 / 在宅警戒	在宅ランプが緑色点灯していなければ、「押す」スイッチを押して点灯させます。
②モニターのカバーを上げ、電池カバーを外します。	—	
③登録スイッチを押します。（細い棒で押してください。） ※モニターのNo.1ランプが緑色にゆっくり点滅します。（1秒ON⇒1秒OFF）	❷ 登録 / 消去 / リセット	2分以上なにもしなければ、登録モードは終了します。続ける場合は、もう一度登録スイッチを押してください。
④登録モードに入ります。	❸ 1 2 3 4	
⑤例えばNo.3の登録を抹消する場合、No.3のランプを選択します。 ※モニターのNo.3のランプが緑色にゆっくり点滅します。（1秒ON⇒1秒OFF）	❸ 1 2 3 4	例えばNo.3の登録を抹消したいとき、「押す」スイッチを押すごとにモニターの状態表示ランプが順に送られ、希望のランプ位置が選択できます。

手　順	表示ランプ	備　考
⑥消去スイッチを押します。 （細い棒等で押してください。） ※モニターのNo.3のランプが緑色にゆっくり点滅します。 （1秒ON⇒1秒OFF）	❷ 登録 消去 リセット ❸ 1 2 3 4	この時、ブザー音が「ピッ」と鳴り、No.3センサーの登録が抹消されます。
⑦他のNo.の抹消を続けるときは、⑤⇒⑥を繰り返してください。		
⑧登録スイッチを押します。（細い棒で押してください。） ※電池カバーをはめ、モニターのカバーを下げます。	❷ 登録 消去 リセット	登録抹消作業を完了します。
⑨登録抹消の作業を終ります。	—	
⑩モニターの在宅ランプが緑色点灯していることを確認してください。	❶ 在宅 在宅警戒	在宅モードになり、センサー状態を監視します。

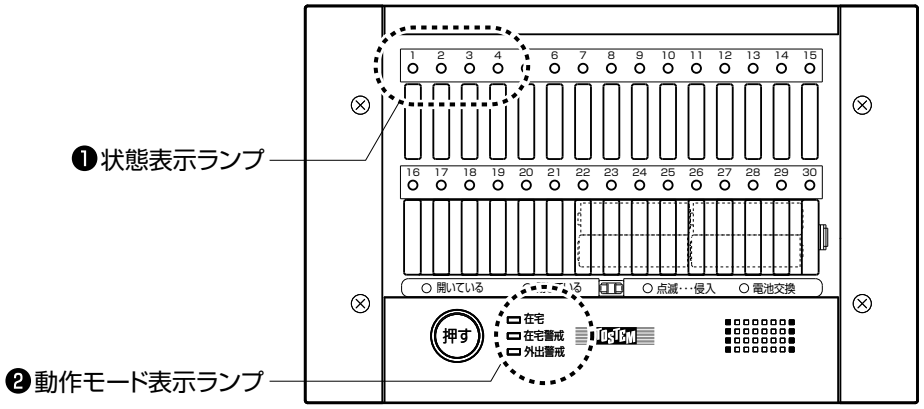
3 再登録

①該当No.のところで登録の消去の操作をして、登録を消してください。
②再度、センサーのデータを送信して登録し直します。その後、再度登録スイッチを押すと登録モードから抜けます。
※すでに登録済みのセンサーを、異なる位置No.へ登録しようとしても登録できません。
この時は、そのセンサーの登録を消去してから登録し直してください。
上書きによる変更はできませんので、必ず消去してから登録してください。

こんな時どうするの?

症状対策表

●モニター



症　状	表示ランプ	対　策
停電になったとき	❶ ※消灯します。 1 2 3 4 ○ ○ ○ ○	●モニターは内蔵電池によりバックアップしてあり、30分間は継続使用ができます。ただし停電中、状態表示ランプは消灯します。停電が復帰すれば、元の状態に戻ります。
在宅ランプが緑色点滅している。	❷ 在宅 在宅警戒 外出警戒	●モニターに内蔵電池が入っていないか、又は電池が消耗しています。単三アルカリ乾電池（4本）を入れるか、取り替えてください。 ●交換作業は100Vコンセントをつないだ状態で行ってください。交換後は、ランプの点滅が消えることを確認してください。
状態表示のランプが橙色と緑色（施錠時）又は赤色（解錠時）が点滅している。	❶ 1 2 3 4	●センサーの電池が消耗しています。 単三アルカリ乾電池（2本）を入れ替えてください。 ●交換後、約2分後に点滅が消えることを確認してください。
状態表示ランプが橙色点灯している。	❶ 1 2 3 4	●センサーからの通信がありません。センサーの電池が入っていない、又は消耗しています。新しい電池を入れてください。
全ての状態表示ランプが赤色と緑色の交互に点滅する。	❶ 1 2 3 4	●通信異常です。 ●在宅警戒・外出警戒モードでは警報ブザーが鳴ります。 ●妨害電波などで通信不能状態が30秒以上続きました。周囲にノイズ発生源があれば、ノイズが出ないように対策を施してください。

仕　様

モニター

区　分	項　目		基　準	備　考
定　格	定格電源電圧		AC100V、50／60Hz	
	使用電源電圧範囲		AC90～110V	
	使用温度範囲		−10～50℃	ただし、電池は5～45℃（停電）
	定格電力		30W以下	AC100V入力
	電波受信	①受信周波数	RCR-STD-30 426MHz帯の内、4CH使用	4CHの内、1CHを選択
		②変調方式	2値FSK変調方式	
	電池警告電圧		4.8V以下	電池電圧
	停電時電池寿命		30分以上	
	受信コード数			
機　能	受信可能範囲		30m以上（屋内）	但し、使用場所の環境により短くなります。
	センサー登録数		30個（MAX）	
	警報音量		85dB以上	
	入出力仕様	①外部入力	5V10mA以上の接点入力	
		②外部通報出力	24V0.5A以下	ON時間:0.1sec以上
		③外部警報出力容量	100V2A以下	

センサー

区　分	項　目		基　準	備　考
定　格	定格電源電圧		DC3V	
			単三型乾電池×2本	アルカリ乾電池又はリチウム電池
	使用電源電圧範囲		DC2.4～3.5V	
	使用温度範囲		−10～65℃	ただし、電池は5～45℃
	消費電力		50mA（MAX）	DC3V入力（送信時）
	電波送信	①送信周波数	RCR-STD-30 426MHz帯の内、4CH使用	4CHの内、1CHを選択
		②変調方式	2値FSK変調方式	
	電池寿命		2年以上（使用条件による）	アルカリ乾電池（推奨:松下製）
	コード数		100万通り	
	電池寿命警告電圧		2.4V以下	電池電圧

※商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

保証について

本書は、ここに記載の保証期間・保障内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。
保証期間中、商品に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、当社商品に関する相談窓口にご相談ください。（連絡先は、P.1をご覧ください。）

■対象商品
サッシ・ドア商品

■保証期間
施工者よりの引き渡し日（注1・注2）から2年間。（電装部品については1年間）ただし、商品からの雨水侵入については10年間とします。
注1）改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
注2）分譲住宅(建売住宅)の場合は、建築主様への引き渡し日とします。

■保証内容
取扱い説明書・本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に商品そのものに不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合を除き無料修理いたします。なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水侵入は、サッシ下枠を超えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

■免責事項
保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
①当社の手配によらない加工・組立て・施工・管理・メンテナンスなどの不備に起因する不具合。（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など）
②表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取付けられた場合の不具合。
③建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。
④商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗等。木製品の反り・干割れ・変色等）や経年変化（樹脂部品の変質・変色等）、又はこれらに伴うサビ・カビ等その他類似の不具合。
⑤自然現象や住環境に起因する結露等の不具合。
⑥環境が特に悪い地域、又は場所での腐食及び不具合。（例えば、海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車の排気ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など）
⑦天災その他の不可抗力（例えば、暴風・豪雨・洪水・高潮・地震・地盤沈下・落雷・火災など）により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
⑧施工当時実用化されていた技術・知識では予測することが不可能な現象、又はこれが原因で生じた不具合。
⑨犬・猫・鳥・鼠などの小動物の害による不具合。
⑩引き渡し後の使用上の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合。
⑪お客様自身の組立て・取付け・修理・改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合。
⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、当社商品に関する相談窓口にお問い合わせください。（連絡先は、P.1をご覧ください。）

MAH-606
4類
2002年10月1日発行

トステム株式会社
本社　〒136-8535東京都江東区大島2-1-1

商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。